



天使の輪っかの味を作ろう ～コンテンツから考える味覚インタフェースの未来～

中野萌士¹⁾, 松倉悠²⁾, 谷川智洋¹⁾, 横井総太郎¹⁾, 大原嶺³⁾, 村山皓平¹⁾, 柳田康幸⁴⁾, 鳴海拓志¹⁾, 和田有史⁵⁾,
大野雅貴⁵⁾

Kizashi NAKANO, Haruka MATSUKURA, Tomohiro TANIKAWA, Sotaro YOKOI, Ryo Ohara, Kohei
MURAYAMA, Yasuyuki YANAGIDA, Takuji NARUMI, Yuji WADA, and Maksaki OHNO

- 1) 東京大学大学院 情報理工学系研究科 (〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1, kizashi, tani, yokoi, murayama, narumi@cyber.t.u-tokyo.ac.jp)
2) 電気通信大学 情報理工学系研究科 (〒 182-8585 東京都調布市調布ケ丘 1-5-1, matsukura@uec.ac.jp)
3) 東京大学大学院 学際情報学府 (〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1, rohara@cyber.t.u-tokyo.ac.jp)
4) 名城大学 情報工学部 (〒 468-8502 愛知県名古屋市中天白区塩釜口 1-501, yanagida@meijo-u.ac.jp)
5) 立命館大学 食マネジメント学部 (〒 525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1, yujiwd, m-ohno@fc.ritsumeai.ac.jp)

概要: 本セッションでは、「天使の輪っかの味」のような抽象的なお題に対して、事前に編成されたチームがそのイメージをもとに調理を行い、完成した味を審査員が実食して評価する形式のワークショップを実施する。またその結果をもとに、面白い味とはどのようなものであるのかについて議論する。さらにパネルディスカッションを通じて、コンテンツを起点とした味覚インタフェースの設計アプローチについて議論し、味覚をめぐるインタラクションの未来像を探る。

キーワード: 味覚提示, 味覚的コメディ, 味喜利

1. 面白い未知の味とは？

テレビなどの視聴覚インタフェースに映し出される「天使の輪っか」は現実に存在しないながらも画面の中に描写することができる。例えば、天使が輪っかを天井にぶつければ、割れたような音が再生される。それでは、天使の輪っかはどんな味がするだろうか？視聴覚ディスプレイが現実に存在しない映像や音を提示できるのに対し、味を提示する装置である味覚インタフェースは、現実に存在しない味、すなわち未知の味を提示することがいまだ困難である。

味覚インタフェースの一手法として、あらかじめカートリッジに封入された基本五味の溶液を組み合わせ提示する手法が挙げられる。しかし、色の三原色のように組み合わせによってすべての味を表現できる基底は未発見であり、この手法は発展途上にある。また、味覚は視覚や嗅覚などの様々な感覚からの影響を受けるため、多感覚提示やクロスモーダル知覚を利用した味覚研究が行われており、単純な味刺激の組み合わせでは表現できない味を提示することに成功している。このようなクロスモーダル知覚を利用した味覚提示手法は、体験者の過去の食経験に基づく「この見た目ならこの味がするだろう」というトップダウン的な予測を誘発し、味の認知に影響を与える。したがって、記憶にない味や現実に存在しない未知の味を提示することは難しい。



図 1: 天使の輪っかの味を味喜利で回答している様子 [1, 2].
(左上) お題に対して, (右上) 調理者が面白い味を考案, (左下) 評価者が試食し, (右下) 最も面白い味が選出される。

本 OS は、味喜利（あじぎり：味＋大喜利）と呼ばれる即興的な味覚的コメディに着目する。味喜利は、「天使の輪っかの味」など文脈に基づくお題に対して参加者が自由に料理を構成し、目隠しで他者に試食してもらう形式の体験（図 1）[1] である。例えば、「天使の輪っかの味」には、レモン味の寒天と砂糖をまぶした輪状のゼリー菓子が用いられ、好意的に受容された。一方、味が不快であると「面白くない」と評価され、未知の味として受容されない傾向がある [2]。

OS 本番では、事前に設定されたお題に対して、複数の回

答者チームがあらかじめ調理した料理を持ち寄り，審査員が試食を行う．これらの体験を通じて，未知の味を表現するために必要な要件を探るとともに，思わず笑ってしまうような面白い味を探求し，ユーモアが味覚を通じてどのように構築され，解釈されるかを考察する．

参考文献

[1] オモコロチャンネル. エセ文化人・原宿の舌をプチ壊せ!【味

喜利・原宿クン編】 [Video]. YouTube. <https://youtu.be/w-40KRQsaUU> , (accessed 2025/05/19), 2025.

[2] S. Yokoi, R. Ohara, K. Murayama, K. Nakano and T. Narumi, What Does an Angel's Halo Taste Like?: Exploring the Structure of Gustatory Comedy through Case Analysis of Ajigiri, Proc. IFIP-ICEC, 2025.